



◀ 操船シミュレータによるAI操船の検証

▲ AI操船による大型フェリーの自動着岸実験



コロナ禍の中で、社会インフラである海上輸送の重要性が改めて認識されています。船舶は大量輸送に最も適した輸送機関ですが、船員の労働負荷低減や海難事故の防止が急務となっています。

こうした課題を解決する手段として期待されているのが自動運航船であり、自動車分野と同様に自動運転システムの開発が進んでいます。

そこで今回は、国土交通省や日本財団の実証プロジェクトを例にとり、大阪公立大学が開発・検証してきた自律操船AIについて易しく解説します。そのうえで、自律運航船が実現した場合の海上輸送について予想してみたいと思います。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、本アカデミックカフェは変更または中止となる可能性があります。

2022年6月24日 (金)

18:30~20:30

(受付18:00~)

カタリスト 橋本 博公

Hirota Hashimoto

大阪公立大学大学院工学研究科

航空宇宙海洋系専攻 教授

協創研究センター 海洋科学技術センター 所長

研究分野：船舶海洋工学



アカデミック
カフェとは？

「本を通じて人と出会う」「自ら主体となって活動する」「ほかの会員との交流を大切に」という活動趣旨のもと、「まちと人」「人と人」とをつなぐ新しいコミュニティの創造を目指している「まちライブラリー@大阪公立大学」で、大阪公立大学教員が、通常の講演や授業とは雰囲気を変えて自身の研究やライフワークを紹介するイベントです。

定員

15名

(申込者多数の場合は抽選、
締切日に定員に達していない場合は
定員に達するまで募集)

参加費

無料

会場

まちライブラリー@大阪公立大学

大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号

南海なんば第1ビル大阪府立大学I-siteなんば3階

- 南海電鉄難波駅なんばパークス方面出口より約800m
 - 地下鉄なんば駅(御堂筋線)⑤出口より約1000m
 - 地下鉄恵美須町駅(堺筋線)①B出口より約450m
 - 地下鉄大田町駅(御堂筋線/四つ橋線)①出口より約450m
- ※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

持ち物

以下のテーマに沿った本

テーマ：「船舶」「海上輸送」「機械学習」「AI」「物流」など

- ◇上記以外でもオススメの本があればお持ちください。
- ◇本を用いた自己紹介の時間があります。
- ◇皆様に寄贈していただいた本を集めてまちライブラリー内にコーナーを作りますが、寄贈は任意です。

申込方法



shak-acship@ml.omu.ac.jp

E-Mail

※半角英数で入力・PCまたはスマートフォンからお申し込みください。
※以下を明記の上、お申し込みください。

【件名】 自律運航船

【本文】 ①氏名(フリガナ) ②携帯番号 ③年齢

④この講座を知ったきっかけ、またはチラシの入手先

締切日
6/10 (金)

主催
問合せ先

大阪公立大学 社会連携課



gr-shak-machilib@omu.ac.jp

(TEL) 06-7656-0441 (FAX) 072-254-6271

※申込アドレスとは異なりますのでご注意ください。

(I-siteなんば事務所内)

☎ 電話でお問い合わせの際は「アカデミックカフェについて」とお伝えください。

